

神戸市保健医療審議会委員名簿（令和6年度）

（敬称略 五十音順）

令和6年7月1日

| | | |
|------------|----------------|-------------------------------------|
| 会長 | 眞庭 謙昌 | 神戸大学医学部附属病院 病院長 |
| 副会長 | 堀本 仁士 | 神戸市医師会 会長 |
| | 岩佐 <u>けんや</u> | 神戸市市議員 |
| | 岩崎 <u>美智子</u> | 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会 常務理事 |
| | 尾島 俊之 | 浜松医科大学 教授 |
| | 小野 愛子 | 神戸市婦人団体協議会 会長 |
| | かじ <u>幸夫</u> | 神戸市市議員 |
| | 小谷 穰治 | 神戸大学医学部 教授 |
| | 堂内 克孝 | 神戸市自治会連絡協議会 副会長 |
| | 西 昂 | 神戸市民間病院協会 会長 |
| | 西垣 千春 | 神戸学院大学総合リハビリテーション学部社会リハビリテーション学科 教授 |
| | 橋本 加代 | 兵庫県栄養士会 会長 |
| | 東 康夫 | 健康保険組合連合会兵庫連合会 副会長 |
| | 丸山 美津子 | 兵庫県看護協会 会長 |
| | 百瀬 深志 | 神戸市歯科医師会 会長 |
| | 森本 真 | 神戸市市議員 |
| | 安田 理恵子 | 神戸市薬剤師会 会長 |
| | 山田 実 | 筑波大学人間系 教授 |
| | 山本 <u>のりかず</u> | 神戸市市議員 |
| | 吉田 <u>健吾</u> | 神戸市市議員 |

合計 20名

※下線の委員は、変更のあった委員。

データから見る神戸市の健康課題

EBPMの取り組み

■ 目的

- 神戸市健康局では、保健施策のEBPM（エビデンスに基づく政策立案）の取り組みのひとつとして、今まで別々に記録されていた個人の医療・介護・健診等のデータを個人ごとにまとめる「ヘルスケアデータ連携システム」を構築し、運用を開始している。
- 本システムのデータ等を分析し、市民の健康状態を網羅的に把握することで、科学的データに基づいた保健事業を推進する。

■ 取り組みについて

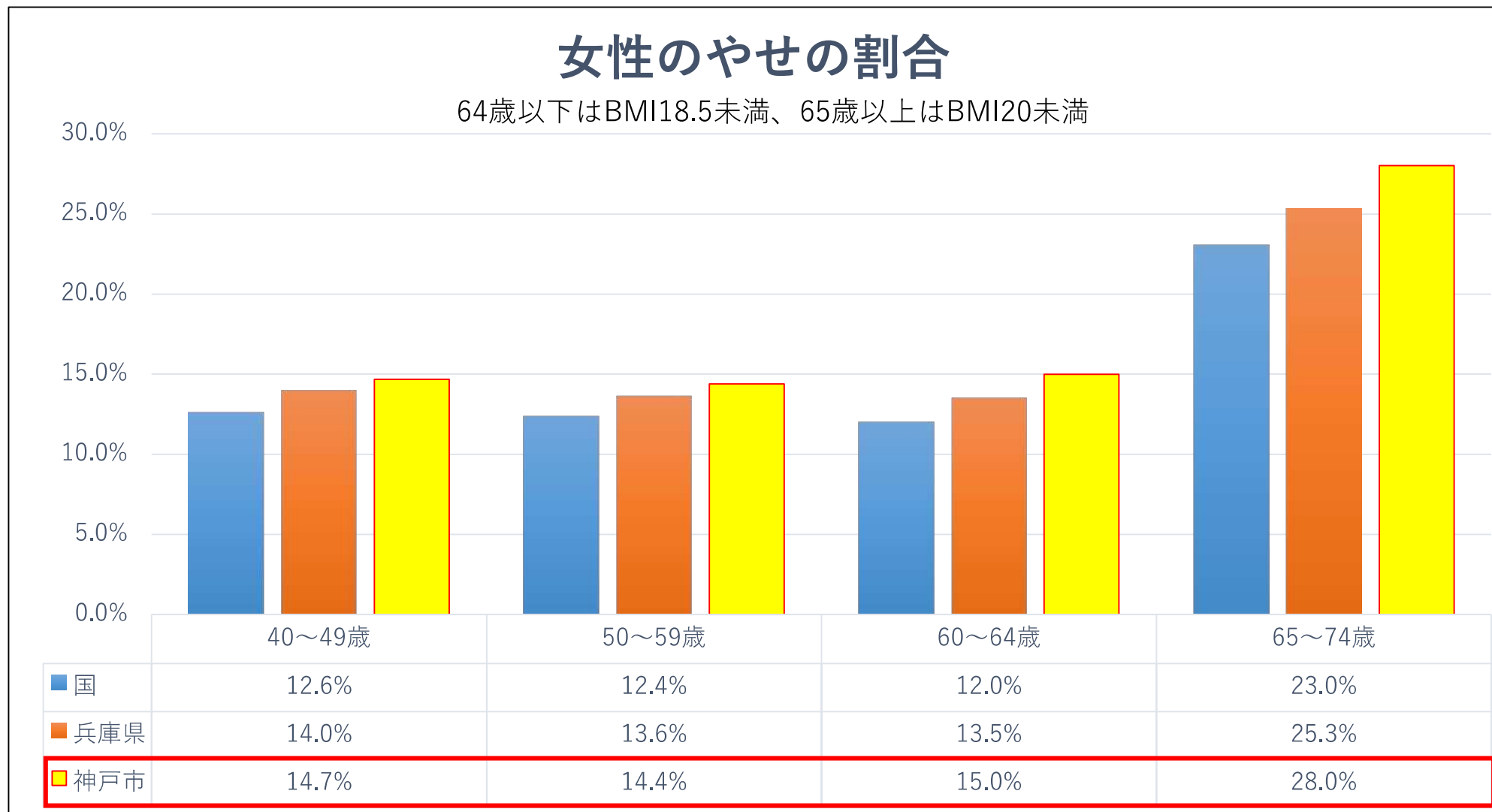
- 本システムから、国の示す指標をもとに、血糖コントロール不良者の割合、収縮期血圧の平均値などの数値を自動的に算出できる仕組みを構築し、居住地域や性別、年齢等を組み合わせた分析を始めた。
- 国は、2024年4月より開始された国民の健康づくり対策（健康日本21 第3次*）において、ライフコースアプローチ（胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくり）の視点を持ちながら取組を進めることを追加した。
- そこで、ライフコースアプローチの視点から、神戸市における健康課題の抽出を行った

* 健康日本21 第3次（2024～2035年度）

社会が多様化する中で健康課題も多様化していることから、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開とより実効性をもつ取り組みの推進を通じて、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的事項を示したもの

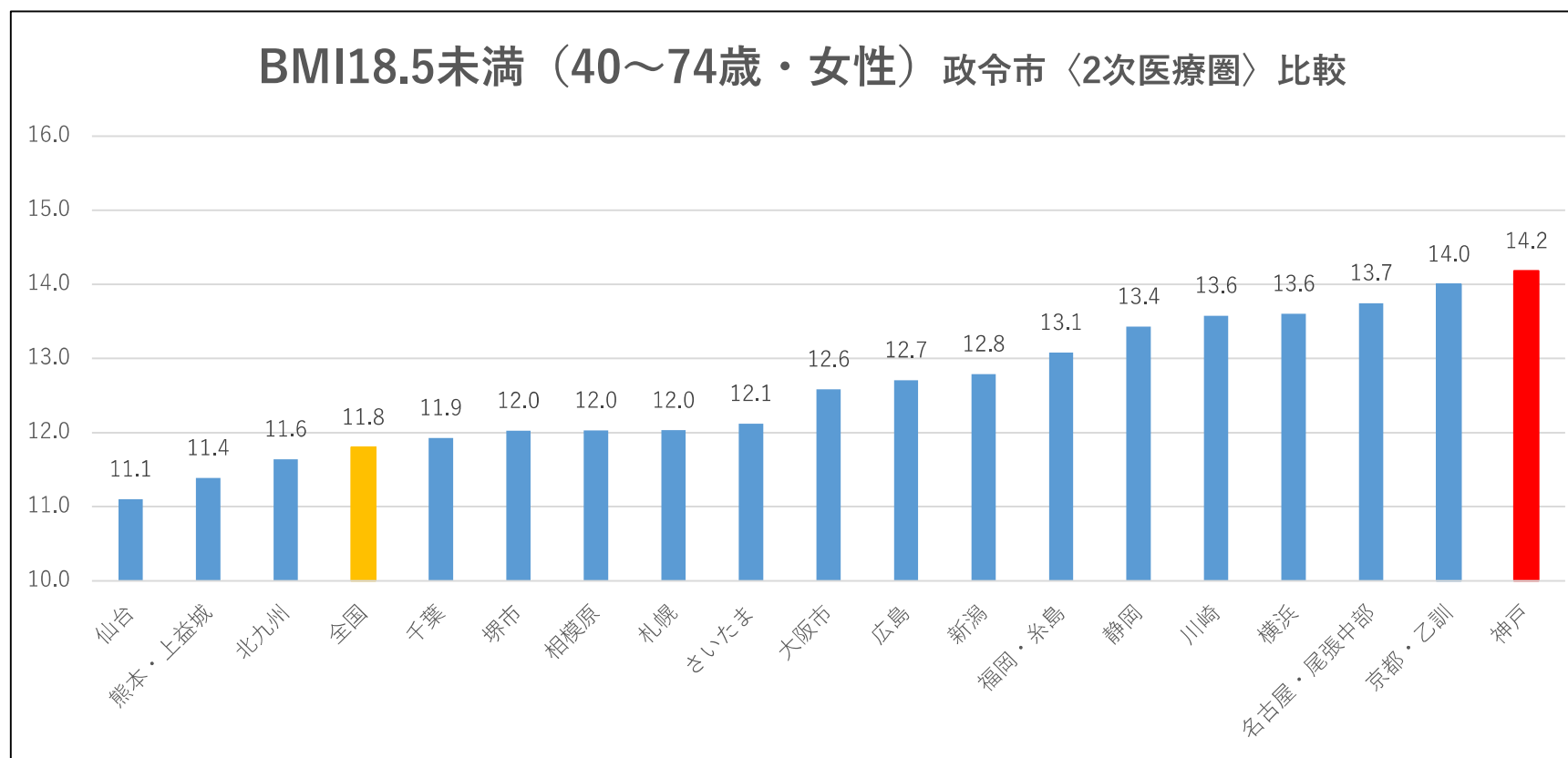
データから見る神戸市の状況 ①-1【低栄養・やせ】

国・県に比べ、女性のやせの割合が高い。



データから見る神戸市の状況 ①-2 【低栄養・やせ】

政令市間（2次医療圏）比較でも、最も高い。



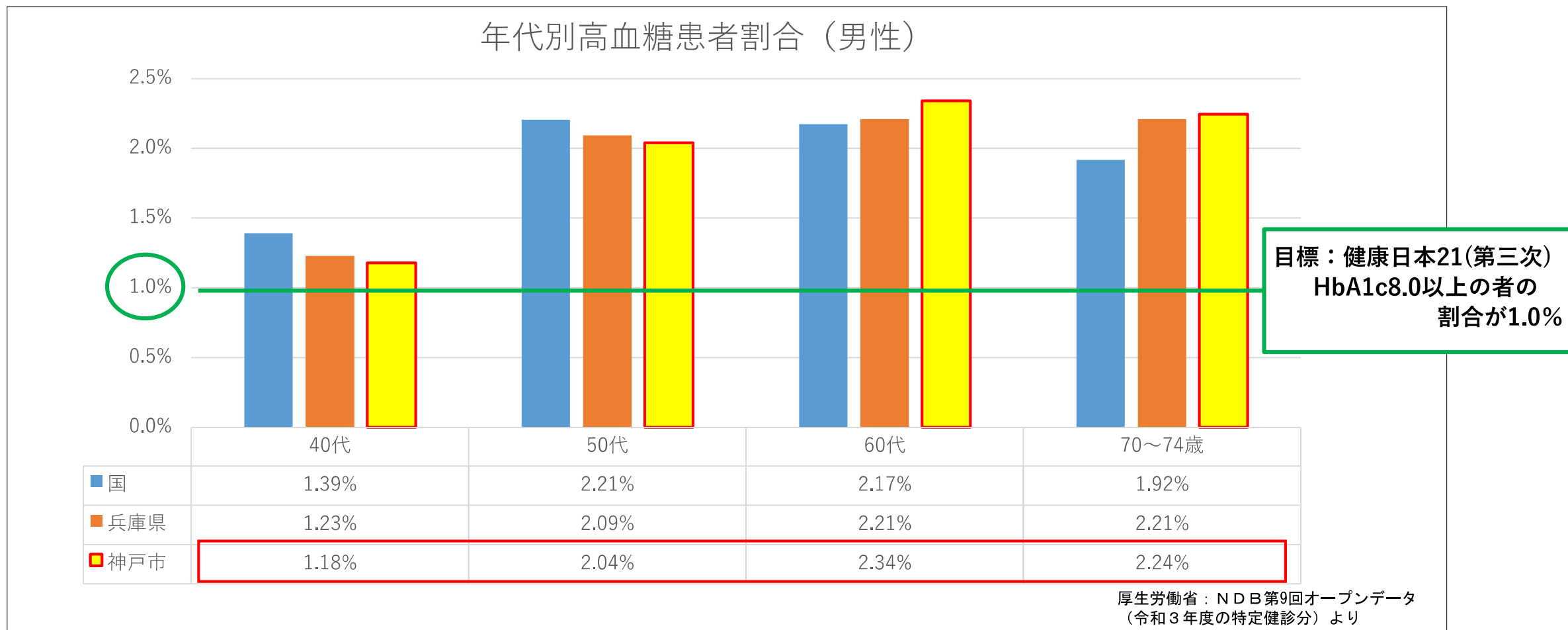
■ やせのリスク

- 若い女性では、糖尿病予備軍の割合が約7倍に高まる。
- 若い女性では、月経異常・貧血・骨粗鬆症のリスクが高まる。
- 中高年期では、糖尿病の発症リスクが高まる。
- 高齢期では、女性で 1.72倍認知症リスクが高まる。（男性で1.04倍）
- 高齢期では、フレイルの一因となり要介護リスクが高まる。

厚生労働省：NDB第9回オープンデータ
（令和3年度の特定健診分）より

データから見る神戸市の状況 ②-1【高血糖】

男性の血糖コントロール不良者(HbA1c※ 8.0以上)の割合が高い

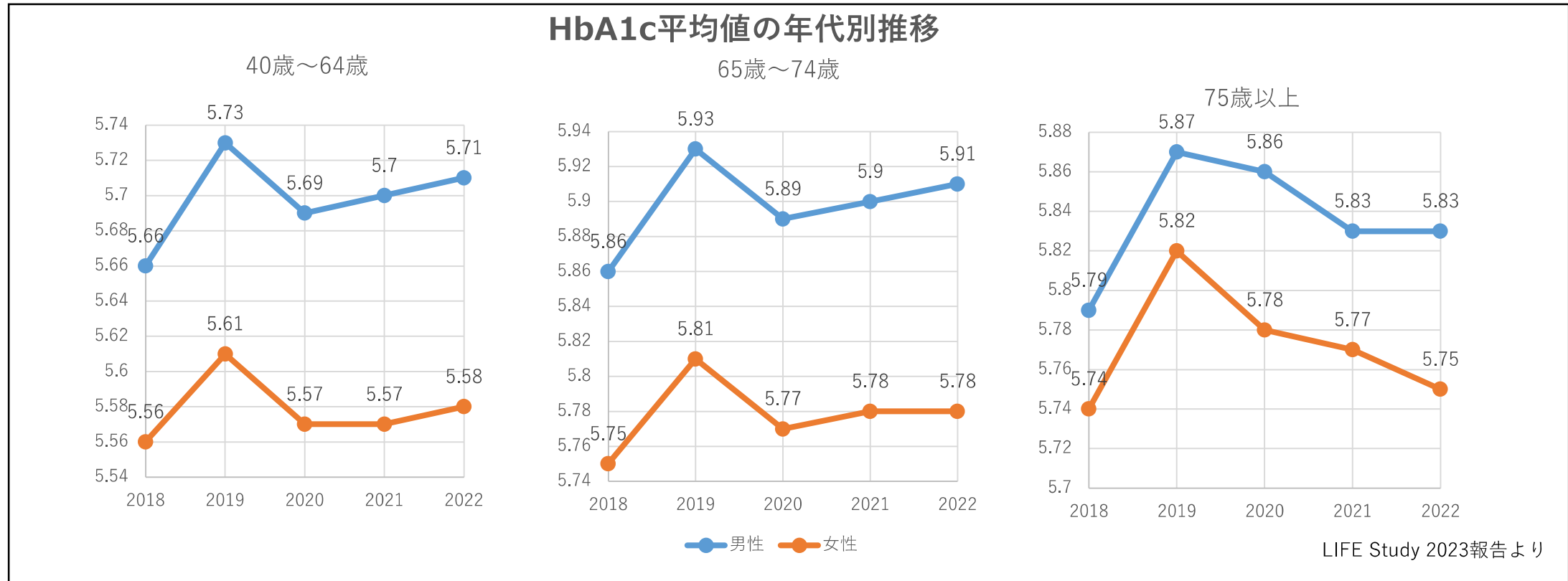


女性（神戸市）の参考値：40代：0.33%、50代：0.61%、60代：0.84%、70代：0.96%

※HbA1cとは、直近1～2か月の血糖値の平均レベルを反映した糖尿病の指標。当日の食事や運動など短期間の血糖値の影響を受けない。基準値は5.5%以下

データから見る神戸市の状況 ②-2【高血糖】

40歳～74歳のHbA1cの平均値が上昇傾向



■高血糖のリスク

- 血糖値が高い状態が長く続くと血管が傷つき、視力低下・腎症・しびれなどの3大合併症を発症するほか、脳卒中（2～3倍）や心筋梗塞（3倍）など、動脈硬化性疾患を引き起こすリスクが高まる
- 認知症リスクが男性は2.22倍、女性は2倍高まる

データから見る神戸市の状況 ②-3【高血糖】

男女ともにHbA1cが「健診勧奨」「要医療」の人が多い

2023年度実施 お気軽健康チェック※（コロナによる健康2次被害対策）より HbA1cの結果

| | 異常なし | | 健診勧奨 | | 要医療 | |
|-----|------------|------------|------------|-------------|-----------|-----------|
| | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 |
| 20代 | 2 (100%) | 2 (40.0%) | 0 | 3 (60.0%) | 0 | 0 |
| 30代 | 6 (100%) | 9 (69.2%) | 0 | 4 (30.8%) | 0 | 0 |
| 40代 | 5 (55.6%) | 8 (32.0%) | 4 (44.4%) | 15 (60.0%) | 0 | 2 (8.0%) |
| 50代 | 4 (50.0%) | 21 (38.2%) | 3 (37.5%) | 30 (54.5%) | 1 (12.5%) | 4 (7.3%) |
| 60代 | 5 (21.7%) | 15 (34.1%) | 12 (52.2%) | 26 (59.1%) | 5 (21.7%) | 3 (6.8%) |
| 70代 | 5 (38.5%) | 7 (23.3%) | 5 (38.5%) | 17 (56.7%) | 3 (23.1%) | 5 (16.7%) |
| 80代 | 1 (16.7%) | 4 (33.3%) | 5 (83.3%) | 7 (58.3%) | 0 | 1 (8.3%) |
| 全年齢 | 28 (41.8%) | 66 (35.9%) | 29 (43.3%) | 102 (55.4%) | 9 (13.4%) | 15 (8.2%) |

※お気軽健康チェック：モデル地区（長田区）にて251人を対象に実施

コロナ禍による外出機会の減少により、生活習慣病の悪化のリスクが高い健診未受診者をターゲットに、買い物ついで等に気軽に健康チェックできる機会を提供する目的で実施。（2023年度のみ）

データから見る神戸市の状況 ②-4【高血糖】

糖尿病は外来医療費の1位

| 順位 | 疾病名 | 割合（医療費） |
|-----|-----------------|---------|
| 1位 | 糖尿病 | 7.8% |
| 2位 | 腎不全 | 7.3% |
| 3位 | その他の悪性新生物 | 6.1% |
| 4位 | 高血圧症 | 4.5% |
| 5位 | その他の眼及び付属器の疾患 | 4.2% |
| 6位 | その他の消化器系の疾患 | 3.9% |
| 7位 | その他の心疾患 | 3.9% |
| 8位 | その他の神経系の疾患 | 3.4% |
| 9位 | 脂質異常症 | 3.4% |
| 10位 | 気管、気管支及び肺の悪性新生物 | 3.1% |

神戸市国民健康保険
第3期 データヘルス計画より

今後さらに医療費の増加が予想される

データから見る神戸市の状況 ③【フレイル】

年齢とともにサルコペニアの疑いが増加

2023年度実施 転倒リスクチェック事業*（コロナによる健康2次被害対策）より

■転倒リスクチェック結果

| | 異常なし | ハイリスク | 介護サービス利用者 | 不明 |
|-------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 70歳代 | 701 (21.8%) | 2426 (75.5%) | 80 (2.5%) | 8 (0.2%) |
| 80歳代 | 219 (10.0%) | 1753 (80.0%) | 207 (9.4%) | 12 (0.5%) |
| 90歳以上 | 4 (2.2%) | 135 (75.8%) | 39 (21.9%) | 0 (0.0%) |
| 総計 | 1016 (17.2%) | 3444 (76.8%) | 4539 (5.7%) | 21 (0.4%) |

【ハイリスク】

「握力」「ふくらはぎ周囲長」「質問項目」のいずれかで該当

■ハイリスクのうち、サルコペニア疑いに該当した割合

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|-------|----------------|-----------------|-----------------|
| 70歳代 | 178 (18.9%) | 662 (29.1%) | 840 (33.2%) |
| 80歳代 | 232 (35.0%) | 718 (47.0%) | 950 (47.7%) |
| 90歳以上 | 32 (50.0%) | 83 (72.8%) | 115 (65.2%) |
| 総計 | 461 (25.8%) | 1492 (36.2%) | 1953 (39.0%) |

【疑い基準】

男性：「握力左右いずれか28kg未満」かつ「ふくらはぎ周囲長34cm未満」

女性：「握力左右いずれか18kg未満」かつ「ふくらはぎ周囲長33cm未満」

- ・年齢ごとにサルコペニア疑いは急増している（特に女性で顕著）
- ・神戸市の高齢者全体（特に予防が可能な若い段階）に向けて、筋力・筋肉量の減少等の現状や対策方法を周知・啓発する必要がある。

*サルコペニア：筋肉量の減少および筋力が低下している状態のこと

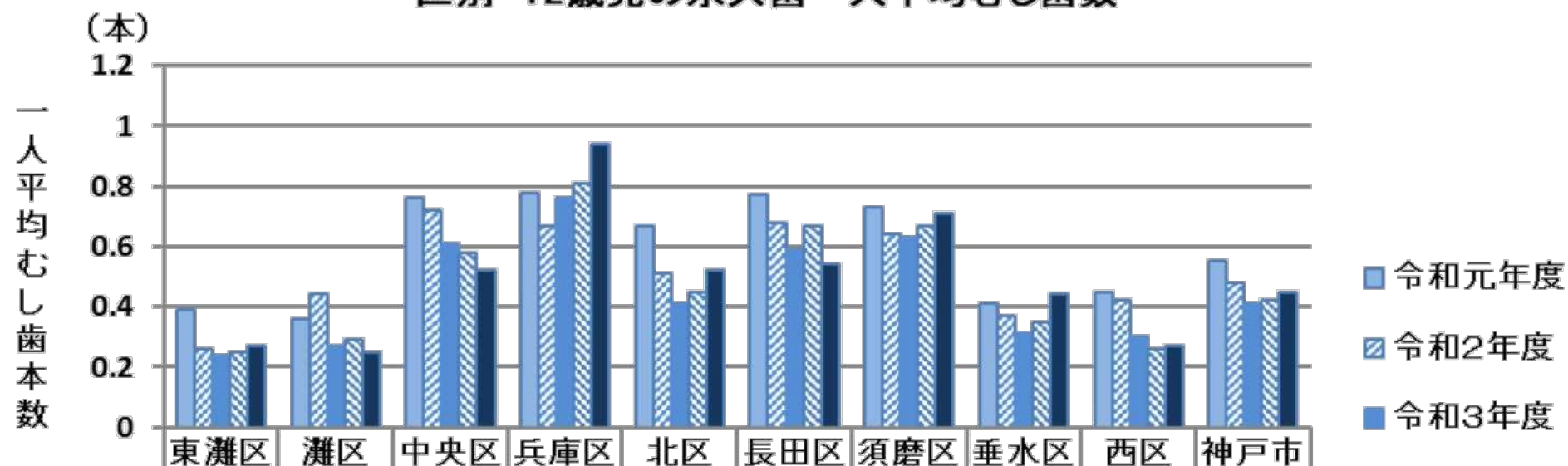
*転倒リスクチェック：コロナ禍による外出機会の減少により、高齢者のフレイルの進行が見込まれる中、サルコペニア予防を目的に、駅前や商店街などの身近な場所で市内全区にて実施。（2023年度のみ）

転倒リスクに関する簡易な測定を実施し、結果に応じて運動プログラムへの参加やセルフリハビリの紹介を行った。

データから見る神戸市の状況 ④【歯・口腔の健康】

むし歯の状況は地域による差がある。
健康格差は 2.2倍（令和元年度）⇒3.8倍（令和5年度）に拡大。

区別 12歳児の永久歯一人平均むし歯数



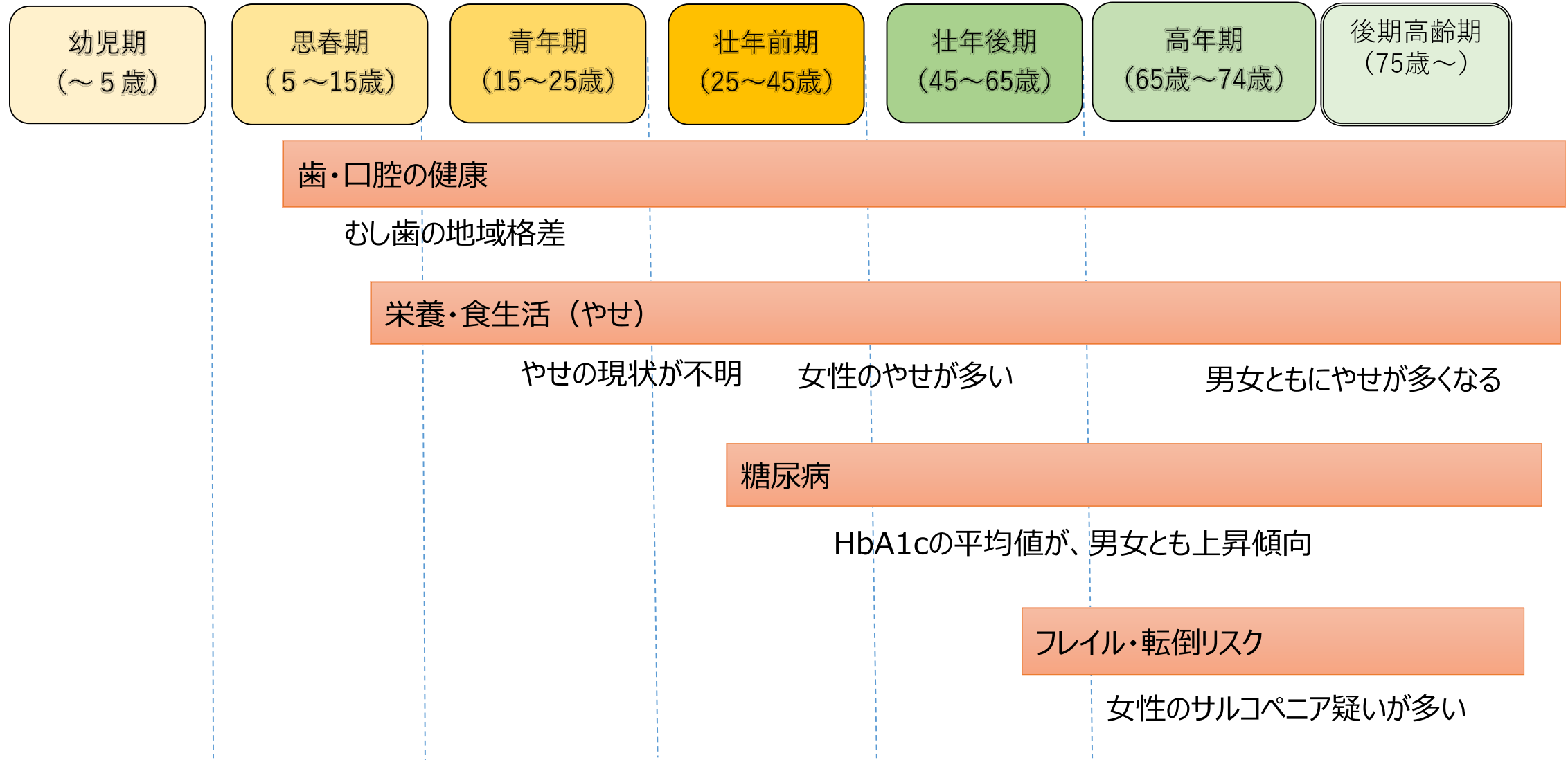
| | 東灘区 | 灘区 | 中央区 | 兵庫区 | 北区 | 長田区 | 須磨区 | 垂水区 | 西区 | 神戸市 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 令和元年度 | 0.39 | 0.36 | 0.76 | 0.78 | 0.67 | 0.77 | 0.73 | 0.41 | 0.45 | 0.55 |
| 令和2年度 | 0.26 | 0.44 | 0.72 | 0.67 | 0.51 | 0.68 | 0.64 | 0.37 | 0.42 | 0.48 |
| 令和3年度 | 0.24 | 0.27 | 0.61 | 0.76 | 0.41 | 0.59 | 0.63 | 0.31 | 0.3 | 0.41 |
| 令和4年度 | 0.25 | 0.29 | 0.58 | 0.81 | 0.45 | 0.67 | 0.67 | 0.35 | 0.26 | 0.42 |
| 令和5年度 | 0.27 | 0.25 | 0.52 | 0.94 | 0.52 | 0.54 | 0.71 | 0.44 | 0.27 | 0.45 |

最小

最多

神戸市教育委員会調査

ライフコースアプローチから見た健康課題【まとめ】



高齢化による内部障害患者の増加

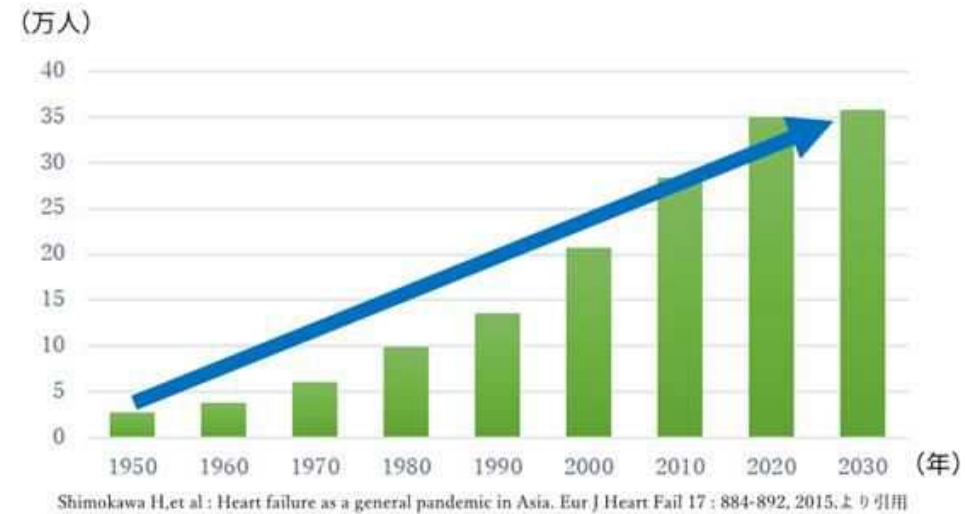
■ 内部障害患者の増加

- 2040年、高齢者が全人口の35%となる見込み
- 医療技術の向上により、死亡率の低下や疾病構造に大きな変化
- 特に心臓疾患や呼吸器疾患等の内部障害（※）の患者の増加が顕著

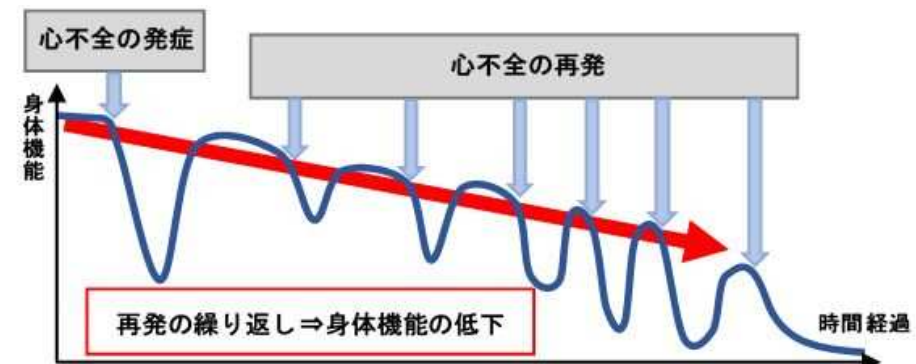
（※）内部障害とは：循環、呼吸、腎尿路、消化など
内部機能の障害のこと

■ 再入院予防のため継続したリハビリが重要

- 高齢者はフレイルが進行するケースが多い
- 予後の向上や再入院を防止するため、原疾患の治療だけでなく、継続した丁寧なリハビリが重要



日本の 65 歳以上人口における心不全新規発症推定数の推移



心不全とそのリスクの進展ステージ

今後の方向性

| 課題 | 現在の取り組み | 今後の方向性 |
|------------|--|---|
| やせ | <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に基づき個別指導及び集団指導を実施 ・地域での健康教育 ・ホームページでの適正体重に関する啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代（20～30代）の女性のやせの現状把握（データ収集・分析） ・より若い世代にむけた「やせリスクの啓発」と行動変容のきっかけとなるセルフチェック機会の提供 |
| 高血糖 | <ul style="list-style-type: none"> ・健診受診者への個別保健指導及び健康相談 ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に基づき個別指導及び集団指導を実施 など ・地域での健康教育 ・壮年期への積極的な啓発（お気軽健康チェックの結果を踏まえた啓発チラシを作成し活用） ・ホームページでの生活習慣病に関する啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・壮年期への啓発の強化 ・健康教育（健康づくり教室のテーマの拡充等）の充実 ・男性への啓発と保健指導の充実 ・乳幼児健診等の機会を活用して、女性へ健診受診や生活習慣病予防への意識づけを行う ・企業等に対し、被扶養者の健康づくりについて啓発 |
| フレイル | <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に基づき個別指導及び集団指導を実施 ・高齢者への積極的な啓発（転倒リスクチェックの結果を踏まえた啓発チラシを作成し活用） | <ul style="list-style-type: none"> ・介護保健課との情報共有・連携した取り組み ・再入院防止への取り組み |
| 再入院防止の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・報告事項（1） | |

高齢化により増加する
内部障害（心疾患・呼吸器）患者の
リハビリ・再入院防止の取り組み

～急性期・回復期・生活期に至るまでの
一貫通貫したリハビリモデルの構築～

1. 再入院防止の取り組み

○課題

- ①急性期・回復期・生活期（在宅）と断続的にリハビリが提供されており、一気通貫した体制となっていない
- ②内部障害リハに対応できるスタッフが不足している



上記課題を解決するため

○再入院防止の取り組み

内部障害（心臓疾患や呼吸器疾患）を対象に、急性期から回復期・生活期（在宅）に至るまで一気通貫したリハビリモデルを構築し、試行的な取り組みを実施

- 【協議体の名称】 神戸地域一体化リハビリテーションコンソーシアム：キュア神戸
- 【事務局】 一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団、神戸市

2. 取り組み内容

01 急性期から回復期・生活期まで一貫したリハビリの実施

- ・ 情報共有ツールを活用したリハビリプログラムの運用のために ICT連携ツールを導入し、医療機関や介護事業所間で、患者情報をリアルタイムで共有を行い、継続したリハビリを実施

02 内部障害リハビリを担う医療スタッフの育成

- ・ 内部障害に関わる知識・技術をテーマにした研修を開催



3. 取り組み実績

01 急性期から回復期・生活期まで一貫通貫したリハビリの実施

- ・ ICTを活用し、医療・介護従事者間で情報連携を行うリハ運用プログラムの実施
- ・ 実績：循環器91名、呼吸器35名、計126名の患者に実施（令和6年7月末時点）
- ・ ICTツールの登録施設数：49施設（令和6年7月末時点）

02 医療スタッフの育成

- ・ 内部障害リハに対応できる医療スタッフの育成を目的とした研修会を開催
- ・ 実績：10回実施（令和6年6月時点）、延べ参加人数1,850人（令和6年6月時点）
- ・ 対象：医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・栄養士・ケアマネージャー・介護福祉士等
- ・ 研修テーマ：包括的心臓リハビリテーション概論～運動・予防・座位行動の観点から～
急性期から回復期の心臓リハビリテーションの実際（演習）
呼吸器疾患リハビリテーション（演習）
心不全患者における日常生活動作（ADL）について 等

4. 今後の取り組み

- ・ ICT連携ツールの導入推進
- ・ 医療スタッフへの教育を強化
- ・ 市民への内部障害リハビリの啓発の推進

→取り組みの裾野を広げ、参加施設を増やすことで、
より多くの市民の健康寿命の延伸につなげる



高齢化により増加する
内部障害（心疾患・呼吸器）患者の
リハビリ・再入院防止の取り組み

～急性期治療終了後の在宅復帰者に対する
受益者負担による運動支援の試験実施～

1. 背景・課題

- ・心疾患等の急性期治療後、虚弱状態で在宅復帰された方は、適切な運動継続によるフレイル改善に取り組まなければ、再発・再入院の可能性が高い

しかしこれらの方々の中には・・・

① 診療報酬の対象外

➡医療的には心臓リハビリ等の回復期リハビリが必要でないため

② 介護保険制度の対象外

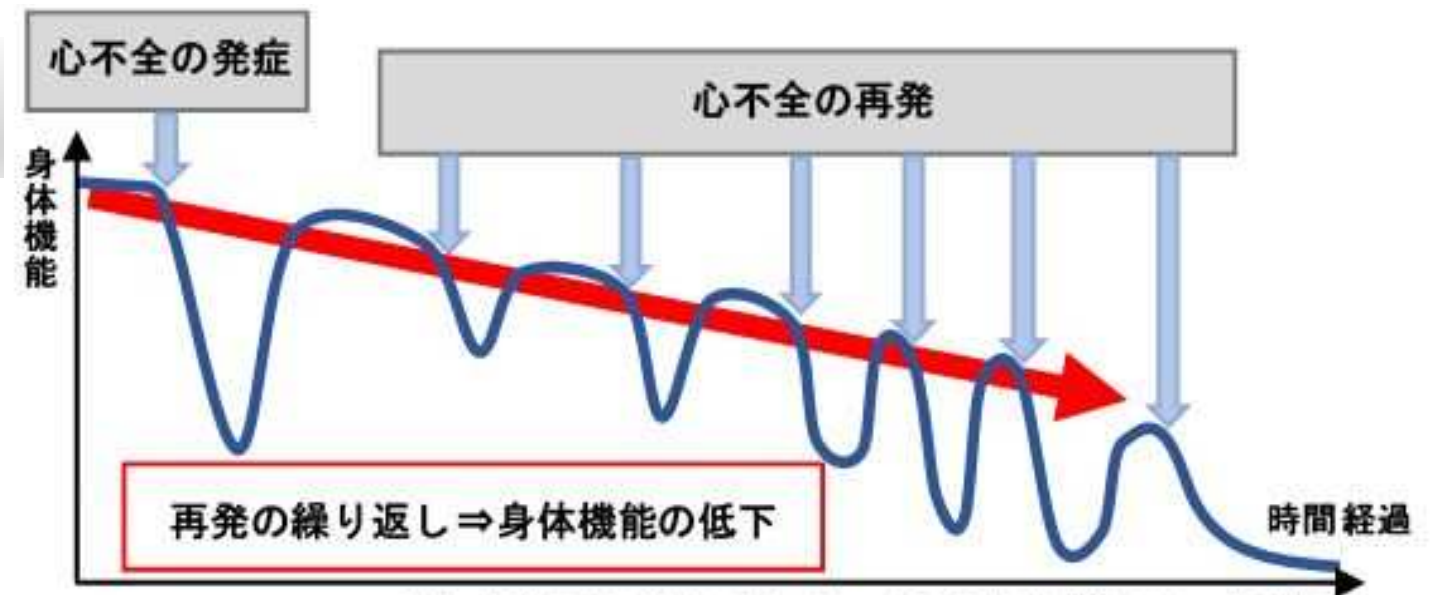
➡介護認定を受けるレベルにないため

③ 個人での運動継続が困難

➡運動による症状悪化の不安から



安全性の高い運動支援により再発・再入院を予防し、健康寿命の延伸を図る



急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年改訂版）より一部改変

心不全とそのリスクの進展ステージ

2. 運動支援事業の試験実施

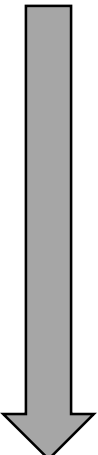
- ・入院治療後、在宅復帰したが、疾患とその治療に伴い身体機能が低下し、虚弱状態にある方に対する予後改善のため、運動支援事業を試験実施する

- ☑ まずは市民病院で選定された対象者から実施し、適切な実施体制を検証
- ☑ 利用者負担を設けて、公費を投入しない自走するスキームが可能かを検証

将来的には・・・

- ・ 受益者負担によるスポーツジムなど民間主体による実施を目指す

■ 本事業の位置づけ



| | | | |
|-----|-------|---------------------|--------|
| 急性期 | 急性期リハ | | 医療保険 |
| 回復期 | 回復期リハ | | |
| 生活期 | 在宅 | 通所リハ、訪問リハ | 介護保険 |
| | | <u>スポーツジムでの運動支援</u> | (民間主体) |

3. 事業の概要

- 心疾患、呼吸器疾患、がん等のリハビリ治療が終了し、在宅復帰された方の再発・再入院を予防（※今年度は市民病院からの紹介のみ）
- 市民病院から発行された運動処方に基づき、一人ひとりの体の状態にあった運動プログラムを作成し、少人数制の安全に配慮した運動指導を実施
- 運動指導に加え、健康相談・栄養相談を実施し、利用者の退院後の悩みを包括的にサポート
- 6ヵ月間の事業終了後も地域の保健師が相談窓口となる



4. 事業の詳細

| 項目 | 内容 |
|-------|--|
| 利用対象者 | 下記の条件を満たし、市民病院から運動処方が発行された方 ✓ <u>病院でのリハビリ治療が終了し、在宅復帰したが、運動の継続により再入院予防が見込まれると医療機関が判断した方で要介護（要支援）認定を受けていない方</u> ✓ 下記のような内部障害を持つ、運動可能な方 がん、心筋梗塞など心疾患、呼吸器疾患、（脳血管疾患、その他） |
| 利用料 | 2,000円／月（1クール6か月間）※自己負担金として |
| 実施場所 | 健康ライフプラザフィットネスクラブ（JR兵庫駅すぐ） |
| 利用日時 | 平日 9：30～22：00（火曜定休）／土・日・祝 9：30～18：00 |
| 効果測定 | 握力左右、6分間歩行距離、筋肉量、自覚症状（アンケート）を1回月 その他事業者提案項目（5回立座り、各関節稼働域等）を3ヵ月に1回 |

将来的には、受益者負担によるスポーツジムなど民間主体による実施を目指して、まずは健康ライフプラザの運動施設を活用し、試験的に実施。

(参考資料：案内チラシ)

神戸市「リハビリ後運動支援」のご案内



JR兵庫駅より 徒歩1分
神戸高速線 大開駅より 徒歩7分

専門のトレーナーが健康で豊かな生活をサポート

運動支援事業スタート!

- 神戸市では、リハビリ治療後の再発・再入院の予防を目的に、スポーツジムで運動指導が受けられる運動支援事業を試行的に実施します。
- スポーツジムの有資格トレーナーが病院から発行された運動処方に基づき、一人ひとりの体の状態にあった、運動プログラムを作成し、運動中も定期的にバイタルサインを測定するので、安心して運動に取り組んでいただけます。
- 運動支援に加え、健康相談・栄養相談を実施し、利用者の退院後のお悩みを包括的にサポートします。



健康ライフプラザ フィットネスジム COIPA WELLNESS
TEL.078-954-8990 〒652-0897 神戸市兵庫区駅前通5丁目1番2号 健康ライフプラザ4F COSPAウエルネス

対象になる方
以下の条件を満たし、病院から運動処方が発行された方が対象となります。
①神戸市に住民登録されている方
②心疾患・呼吸器疾患・がんにより入院時にリハビリ治療が行われて自宅退院されている方
③要介護(要支援)認定を受けていない方

ご利用料(自己負担額) 1ヶ月:2,000円
実施場所 健康ライフプラザ4F 施設内

事業内容
・保健師による健康相談(随時・最終回)
・管理栄養士による栄養相談(初回・中間・終了時の3回)
・有資格者トレーナーによる運動指導(週1回)
病院が発行する運動処方に基づき、完全予約制のマンツーマンで運動指導およびサポートを行います。

運動支援の流れ(一日の実施例)



■カウンセリング
■姿勢チェック
■身体測定/毎月
- 腹囲、体重
- 体組成
- 握力
- 6分間歩行
- 自覚症状ヒアリング など
【定量測定】
1回目/8回目
- 筋力、バランス力測定
- 関節可動域測定 など

■オリジナル姿勢運動
- 動的(ダイナミック)ストレッチ

■バランス運動

■レジスタンストレーニング
■歩行運動

■クールダウン
■姿勢チェック

週に1回60分の運動支援を6ヶ月間行います。
※運動支援の内容は個人の体力に応じて対応します。※初回はお手紙・測定等があるため1時間30分を予定しております。

ご利用方法
ご利用の際は、施設窓口またはお電話にてご利用希望日の1週間前までに事前予約をお願いいたします。

完全予約制



施設窓口またはお電話にて事前予約をお願いします。
TEL:078-954-8990
ご予約受付期間:平日 9:30~22:00 / 土・日・祝 9:30~18:00

健康ライフプラザ フィットネスジム
〒652-0897 神戸市兵庫区駅前通5丁目1番2号 健康ライフプラザ4F



JR兵庫駅より 徒歩1分
神戸高速線 大開駅より 徒歩7分

施設案内
地下1階に有料駐車場あり
利用料金500円/1回
(※ご利用時別途24時間900円)
(※乗降コースの運賃はございません。)

施設案内
地下1階に有料駐車場あり
利用料金500円/1回
(※ご利用時別途24時間900円)
(※乗降コースの運賃はございません。)

※運賃の都合は、その他利用の乗車券・乗車券をご利用ください。

5. 実施状況

- 開始時期：令和6年6月より開始 / 利用人数 9名（R6.8.20時点）
- 利用者の例(初回利用時点)

マンツーマン指導
による安全性に配慮した運動支援

| No. | 年齢 | 性別 | 身長 | 体重 | 6分間 歩行距離 | 主病名 |
|-----|----|----|-------|---------|-------------|---------|
| 1 | 75 | 男 | 163cm | 68.4kg | 450m | うっ血性心不全 |
| 2 | 75 | 女 | 155cm | 30.7kg | 357.6m | 心不全 |
| 3 | 58 | 男 | 180cm | 106.2kg | 405m | 大動脈解離 |
| 4 | 49 | 男 | 170cm | 58.7kg | 525m | 心筋梗塞 |



【A氏（75歳・男性）開始から1月経過】
初回はストレッチ等の簡単な運動のみで息切れ気味であったが、直近では有酸素運動・レジスタンストレーニング※も問題なく実施。運動に対する意欲が出てきている様子。

6分間歩行距離（初回）450m ⇒ （1月後）460.4m

【B氏（75歳・女性）開始から1月経過】
治療・入院による体重減が目立つ方。
まずは入院前の体重に近づけることを目標に栄養相談を継続。徐々にではあるが体重も戻ってきている状況。

6分間歩行距離（初回）357.6m ⇒ （1月後）384.7m

※レジスタンストレーニング：筋肉に抵抗（レジスタンス）をかける動作を繰り返し行う運動

健康データを活用した研究の公募について

健康データを活用した研究の公募について

- ・今まで別々に記録されていた個人の医療・介護・健診等のデータを個人ごとにまとめる「ヘルスケアデータ連携システム」を構築し、運用を開始している。
- ・本システムの健康データを学術機関等に提供し、これまで10件の研究が実施されている。
- ・今年度は、本市の重点課題のうち以下の3つをテーマとして設定し、市民や本市施策へ還元できる可能性の高い研究の公募を開始した。
- ・より迅速に施策へ還元するため、研究期間は原則3年以内とし、毎年進捗状況を報告してもらおうとともに、そのつど分析結果の施策への活用を検討する。

＜R6年度の公募テーマ＞

- ①増え続ける救急需要対策に資する研究
- ②本市における圏域別（行政区・学校区）の健康状態の将来推計、および健康寿命延伸に向けた施策やその重点ターゲットとすべき地域・ハイリスク層を明らかにする研究
- ③子宮頸がん予防（子宮頸がん検診、HPVワクチン接種）に向けた、市民（検診未受診者、ワクチン未接種者等）へのアプローチ方法に関する研究

神戸市における災害対応の課題に対する 検討状況

神戸市における災害対応の課題に対する検討状況

能登半島地震の保健活動の中で見えた神戸市での災害対応における課題

昨年度末に開催した令和5年度第2回保健医療審議会において、議論いただいた。
その際に、以下の課題が見えたことを報告した。

被災地で感じた課題①（初動期における対応）

被災地自治体の保健師など保健医療活動に従事する職員がもともと少ないうえに、職員自身が被災されていることもあり、初動期における対応が遅れた。

被災地で感じた課題②（保健医療活動に関する受援体制の構築）

保健医療活動に関する受援対象業務や必要な職員数が整理されていないため、次々と来る支援チームからの支援に関する問い合わせや、支援チーム活動の指揮調整が非常に難しい状況であった。

被災地で感じた課題③（情報連携）

自治体内、自治体間、支援チーム間との保健医療活動に関する情報共有や連携が不十分だった。

被災地で感じた課題①（初動期における対応）

被災地自治体の保健師など保健医療活動に従事する職員がもともと少ないうえに、職員自身が被災されていることもあり、初動期における対応が遅れた。

【神戸市における対応方針】

- ・災害時の出勤数を想定し、発災後の各フェーズ毎（24時間以内、72時間以内、1週間以内）にやるべきことを、職員が不足な場合にも対応できるよう、整理しておく。
- ・経験年数や職種を問わず、職員が参集すれば、保健医療福祉調整地域本部（※1）が初動対応できるよう、発災後24時間以内にやるべきことをアクションカード（※2）に落とし込んでおく。
アクションカードを活用した保健医療福祉調整地域本部内の訓練を行う。
- ・『神戸市地域災害救急医療マニュアル』に基づき、保健医療福祉調整地域本部・区役所等と、初動期を想定した合同訓練を行う。

【現在の検討状況】

- ・市保健医療福祉調整地域本部の各班ごとに、発災後24時間以内のアクションカードを作成した。
- ・各班ごとに作成したアクションカードに齟齬がないか検証するため、9月に調整地域本部としての机上訓練を計画している。
- ・今年度中に、関係機関と合同訓練を実施することで、初動対応時における認識の共有を図りたい。

被災地で感じた課題②（保健医療活動に関する受援体制の構築）

保健医療活動に関する受援対象業務や必要な職員数が整理されていないため、次々と来る支援チームからの支援に関する問い合わせや、支援チーム活動の指揮調整が非常に難しい状況であった。

【神戸市における対応方針】

- ・災害時における受援対象業務を整理し、支援チームの具体的な役割や必要な職員数を想定した『医療専門職の受援計画』を策定する。特にDHEAT（※3）は、保健医療福祉調整地域本部を補完する役割を担うことから、必要な職種・自治体（政令市に限るなど）も含めて検討が必要。
- ・『神戸市地域災害救急医療マニュアル』に基づき、保健医療福祉調整地域本部・区役所等と、初動期を想定した合同訓練を行う。（再掲）

【現在の検討状況】

- ・市保健医療福祉調整地域本部の各班ごとに、受援計画を作成し、必要な人員体制について検証した。
- ・まずは、9月に調整地域本部としての机上訓練を計画しており、各班ごとの受援体制の確認を行う。
- ・関係団体への応援要請や支援団体との連絡調整について、今年度中に、関係機関と合同訓練を実施することを検討する。

被災地で感じた課題③（情報連携）

自治体内、自治体間、支援チーム間との保健医療活動に関する情報共有や連携が不十分だった。

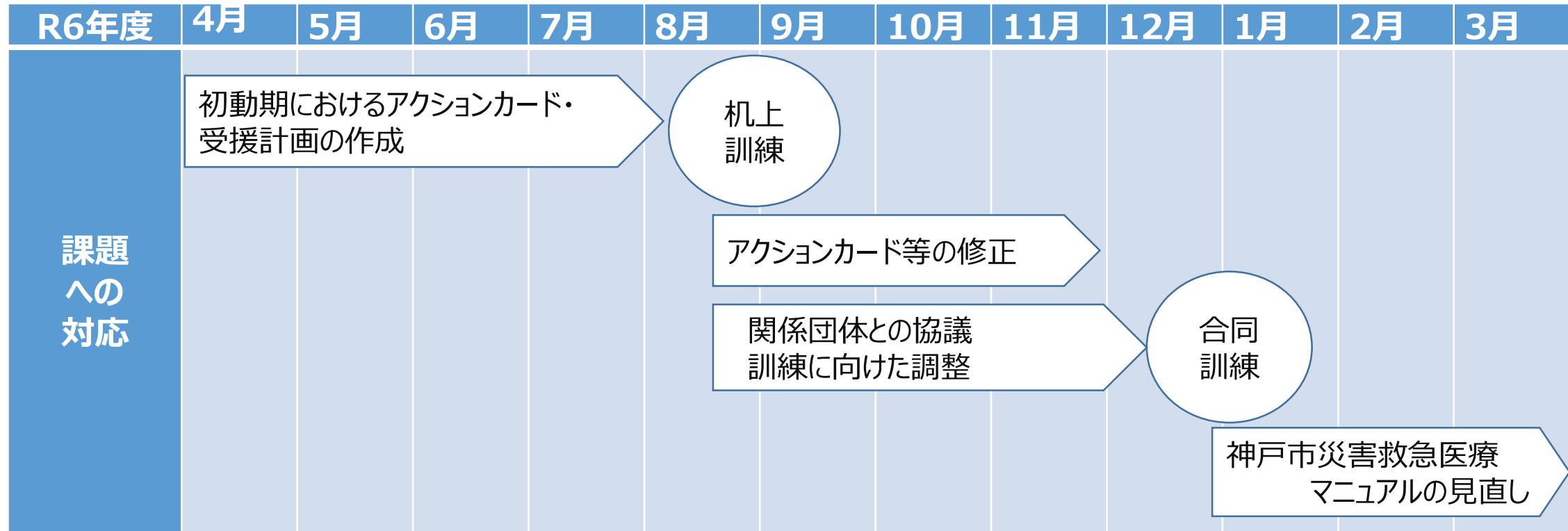
【神戸市における対応方針】

- ・自治体内（健康局、区役所、危機管理室、福祉局、こども家庭局）、自治体間（兵庫県）、自治体と支援チーム間の情報共有の流れを明確化し、『神戸市地域災害救急医療マニュアル』に明記。情報連携シートを作成しておき、そのシートをもとに各関係機関・支援チームと情報共有する。
- ・要フォロー者の情報共有の仕組みを検討。

【現在の検討状況】

- ・情報連携シートの案を作成し、各班や支援チーム間の情報共有の流れを検証している。
- ・情報連携の様式と連携方法について、紙と電子のそれぞれの運用方法を協議中。
- ・関係団体への応援要請や支援団体との連絡調整について、今年度中に、関係機関と合同訓練を実施することを検討する。
- ・要フォロー者の情報共有の仕組みについては、関係部署と検討中。

今後のスケジュール



合同訓練（予定）

実施時期：令和6年末頃

参加依頼先：神戸市医師会、神戸市薬剤師会、災害拠点病院、災害対応病院など

実施内容：①発災後24時間以内における初動対応

②神戸市保健医療福祉調整地域本部の立ち上げと関係機関との連絡体制構築

ペット同行避難 取組み状況

(1) 災害時のペットとの避難ガイドライン策定

令和5年8月

ペットの飼い主の日頃の心構えと避難所での
ペット同行避難の受け入れルールを明確化した
「災害時のペットとの避難ガイドライン」策定



(2) 須磨区・東灘区総合防災訓練

ペット連れ無し

ガイドラインの紹介及び避難所でのペット飼育等について説明

令和5年12月3日（日曜） 白川小学校（須磨区）

令和6年2月18日（日曜） 住吉小学校（東灘区）



(3) 災害時のペットとの同行避難シミュレーション

ペット連れあり

令和6年6月16日（日曜） こうべ動物共生センター
実際にペット連れで、同行避難した場合のシミュレーションと、（公社）神戸市獣医師会による、平時からの健康管理・しつけについての講義



(4) ペット連れでの防災訓練の実施（予定）

ペット連れあり

今後、各区の総合防災訓練でもペット連れでの訓練の実施が出来るよう調整していく予定

神戸市「リハビリ後運動支援」のご案内



JR兵庫駅より

徒歩1分

神戸高速線 大開駅より

徒歩7分

専門のトレーナーが健康で豊かな生活をサポート

運動支援事業 スタート!

- 神戸市では、リハビリ治療後の再発・再入院の予防を目的に、スポーツジムで運動指導が受けられる運動支援事業を試行的に実施します。
- スポーツジムの有資格トレーナーが病院から発行された運動処方に基づき、一人ひとりの体の状態にあった、運動プログラムを作成し、運動中も定期的にバイタルサインを測定するので、安心して運動に取り組んでいただけます。
- 運動支援に加え、健康相談・栄養相談を実施し、利用者の退院後のお悩みを包括的にサポートします。



健康ライフプラザ フィットネスジム

TEL.078-954-8990 ☎652-0897 神戸市兵庫区駅南通5丁目1番2号 健康ライフプラザ4F



COSPAウエルネス

対象になる方

以下の条件を満たし、病院から運動処方が発行された方が対象となります。

- ①神戸市に住民登録されている方
- ②心疾患・呼吸器疾患・がんにより入院時にリハビリ治療が行われて自宅退院されている方
- ③要介護(要支援)認定を受けていない方

ご利用料(自己負担額)

1ヶ月:2,000円

実施場所

健康ライフプラザ4F 施設内

事業内容

- ・保健師による健康相談(随時・最終回)
- ・管理栄養士による栄養相談(初回・中間・終了時の3回)
- ・有資格者トレーナーによる運動指導(週1回)

病院が発行する運動処方に基づき、完全予約制のマンツーマンで運動指導およびサポートを行います。

運動支援の流れ(一日の実施例)



週に1回60分の運動支援を6ヶ月間行います。

※運動支援の内容は個人の体力に応じて対応します。※初回はお手続、測定等があるため1時間30分を予定しております。

ご利用方法

ご利用の際は、施設窓口またはお電話にて
ご利用希望日の1週間前までに事前予約をお願いいたします。

完全
予約制



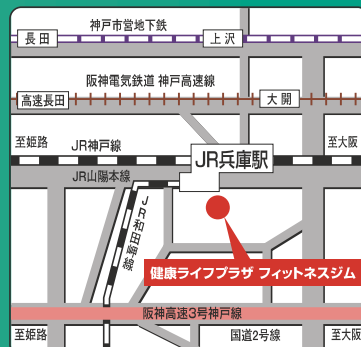
施設窓口またはお電話にて事前予約をお願いします。

TEL:078-954-8990

ご予約受付時間:平日 9:30~22:00 / 土・日・祝 9:30~18:00

健康ライフプラザ フィットネスジム

住所 〒652-0897
神戸市兵庫区駅南通5丁目1番2号 健康ライフプラザ4F



JR兵庫駅より
徒歩1分

神戸高速線
大開駅より
徒歩7分

■駐車場
地下1階に有料駐車場あり
料金:20分110円
(最大料金駐車後24時間600円)
(駐車サービスの提携はございません。)

■駐輪場
建物1階に有料駐輪場あり
料金:駐輪後2時間無料
その後6時間まで100円

※満車の場合は、その他近隣の駐車場・駐輪場をご利用ください。